

# 經濟論叢

第九十七卷 第二號

---

## 哀 辭

故吉村達次教授遺影および原稿

国債発行と金融政策	中 谷 実	1
アージリスの組織理論(1)	田 杉 競	16
貸借対照表という用語の創出過程	高 寺 貞 男	30
独占価格と生産価格	松 石 勝 彦	51

## 記 事

吉村教授逝く

追悼文 (池上 惇 林 直道 松井 清)

追憶談 (坂寄俊雄 稲垣 武 原田篤己)

故吉村達次教授略歴・著作目録

---

昭和四十一年二月

京 都 大 學 經 濟 學 會

## 故 吉村達次 教授 略歴

- |                  |                            |
|------------------|----------------------------|
| 大正5年(1916)12月24日 | 京都市に生れる                    |
| 昭和9年(1934)3月     | 京都府立京都第一中学校卒業              |
| 昭和12年(1937)3月    | 第六高等学校文科乙類卒業               |
| 昭和12年(1937)4月    | 京都帝国大学経済学部入学               |
| 昭和16年(1941)5月    | 治安維持法違反により起訴された為、無期停学処分を受く |
| 昭和17年(1942)5月    | 復学                         |
| 昭和17年(1942)9月    | 京都帝国大学経済学部卒業               |
| 昭和22年(1947)5月    | 京都帝国大学大学院入学(昭和23年5月まで)     |
| 昭和22年(1947)7月    | 京都府立京都第一中学校講師嘱託(同年12月まで)   |
| 昭和22年(1947)7月    | 私立菊花女子専門学校講師嘱託(昭和23年3月まで)  |
| 昭和23年(1948)6月    | 京都大学経済学部文部教官               |
| 昭和25年(1950)1月    | 京都大学経済学部講師                 |
| 昭和25年(1950)3月    | 京都大学職員組合書記長(昭和26年3月まで)     |
| 昭和25年(1950)6月    | 京都大学経済学部助教授                |
| 昭和25年(1950)10月   | 補導委員(昭和26年12月まで)           |
| 昭和27年(1952)6月    | 分校非常勤講師併任(昭和28年3月まで)       |
| 昭和28年(1953)4月    | 大学院経済学研究科授業をあわせて担当         |
| 昭和30年(1955)5月    | 教養部非常勤講師併任(同年12月まで)        |
| 昭和32年(1957)3月    | 京都大学職員組合中央執行委員(昭和33年3月まで)  |
| 昭和34年(1959)4月    | 教養部非常勤講師併任(昭和35年3月まで)      |
| 昭和36年(1961)10月   | 大阪外国語大学講師併任(昭和37年3月まで)     |
| 昭和36年(1961)10月   | 立命館大学経済学部非常勤講師(昭和37年3月まで)  |
| 昭和37年(1962)3月    | 経済学博士(経第78号)               |
| 昭和37年(1962)4月    | 大阪外国語大学講師併任(昭和38年3月まで)     |
| 昭和37年(1962)4月    | 立命館大学経済学部非常勤講師(昭和38年3月まで)  |
| 昭和38年(1963)4月    | 立命館大学経営学部非常勤講師(昭和39年3月まで)  |
| 昭和39年(1964)4月    | 立命館大学法学部非常勤講師(昭和40年2月まで)   |
| 昭和39年(1964)6月    | 中華人民共和国科学院の招請により訪中(同年7月帰国) |
| 昭和41年(1966)1月    | 京都大学経済学部教授                 |
| 昭和41年(1966)1月21日 | くも膜下出血のため逝去                |

## 故 吉村達次 教授 著作目録

## 著 書

恐慌論の研究—循環と変動の  
理論—

三 一 書 房

昭和36年(1961)

## 論 文

- 生産力の主体について 経 済 論 叢 第62巻第4号 昭和23年(1948)10月
- 抽象的労働に関する若干の問題 経 済 論 叢 第65巻第4・5号 昭和25年(1950)5月
- 山本二三丸「恐慌論研究」 経 済 論 叢 第67巻第1号 昭和26年(1951)1月  
(共著)(書評)
- 価値形態と価値実体 経 済 論 叢 第71巻第1号 昭和28年(1953)1月
- 三菱支配下の地方民族産業の実 経 済 評 論 第2巻第12号 昭和28年(1953)12月  
態—京都S製作所の場合—
- (共著)
- 資本制生産社会の基本矛盾と恐慌 経 済 論 叢 第72巻第6号 昭和28年(1953)12月  
(マルクス死後70周年記念号)
- 軍事経済下における民族資本と 経 済 評 論 第3巻第1号 昭和29年(1954)1月  
労働者階級
- 資本主義の基本矛盾の展開と資 経 済 論 叢 第73巻第4号 昭和29年(1954)4月  
本の蓄積
- 軍事経済と国民経済 島 恭彦・松井清他編「経済学 昭和29年(1954)10月  
講座」第3巻「現代資本主  
義の経済と政治」Ⅱ  
大月書店
- 機械染色業(共著) 藤田敏三・金持一郎編「日本 昭和30年(1955)6月  
の中小企業」日本評論社
- ケインズにおける投資概念の解体 経 済 論 叢 第79巻第1号 昭和32年(1957)1月
- 再生産の法則と利潤率均等化法則 経 済 論 叢 第82巻第6号 昭和33年(1958)12月
- 恐慌論研究の成果は何か 経 済 評 論 第7巻第12号 昭和33年(1958)12月
- 搾取の条件と実現の条件の不一 京 都 大 学 経 済 学 部 創 立 40 周 年 昭和34年(1959)5月  
致について 記念「経済学論集」
- いわゆる転形問題の逆説 (再録)横山正彦編「マルクス 昭和35年(1960)10月  
経済学論集」河出書房新社
- 資本主義の運動法則における論 経 済 論 叢 第83巻第6号 昭和34年(1959)6月  
理的なものと歴史的なもの(1)
- 資本主義の運動法則における論 経 済 論 叢 第84巻第5号 昭和34年(1959)11月  
理的なものと歴史的なもの(2)
- 資本主義の運動法則における論 経 済 論 叢 第84巻第6号 昭和34年(1959)12月  
理的なものと歴史的なもの(3)
- 堀江英一「産業資本主義の構造 経 済 論 叢 第85巻第6号 昭和35年(1960)6月  
理論」(書評)
- 経済学の現実的出发点について 経 済 評 論 第9巻第7号 昭和35年(1960)7月  
—資本主義の運動法則におけ  
る歴史的なものと論理的なも  
の(4)—
- 経 済 論 叢 第87巻第4号 昭和36年(1961)4月

- 資本論をいかに読むか 京都大学新聞 昭和36年5月15日号 昭和36年(1961)5月
- 宇野理論を批判する 京都大学新聞 昭和36年6月12日号 昭和36年(1961)6月
- 宇野弘蔵著「経済学方法論」(書評) 季刊経済創刊号 昭和37年(1962)6月
- 経済学をどのように学んだらよ  
いか 京都大学経済学部学生会  
「学生論叢」創刊号 昭和37年(1962)9月
- 国民経済・世界経済恐慌 宇高基輔・島恭彦他編「マル  
クス経済学講座」有斐閣 昭和37年(1962)10月
- 現代資本主義と国家 豊崎教授還暦記念論文集「現  
代資本主義の研究」 昭和37年(1962)11月
- 日本評論社
- 宇野氏「経済法則」論批判 立命館経済学 第11巻第5・6号 昭和38年(1963)2月
- Accumulation and Renewal  
of Fixed Capital in Expanded  
Reproduction The Kyoto University Econo-  
mic Review Vol. 33, No.1 April 1963
- 統計でみる社会科 倫社・政経  
篇(共編著) 雄渾社 昭和39年(1964)3月
- レーニン「帝国主義」論の段階  
規定について 経済論叢 第94巻第5号 昭和39年(1964)11月
- (豊崎稔教授記念号)
- 経済学における理論と実践—下  
向・上向法の弁証法について— 経済論叢 第95巻第6号 昭和40年(1965)6月
- 古典研究「レーニン『マルクス  
主義の三つの源泉と三つの構  
成部分』(1) 経 济 第 1 6 号 昭和40年(1965)9月
- 古典研究「レーニン『マルクス  
主義の三つの源泉と三つの構  
成部分』(2) 経 济 第 1 7 号 昭和40年(1965)10月

## 辞 典

- フォイエルバッハ 大阪市立大学経済研究所編  
「経済学小辞典」岩波書店 昭和26年(1951)6月
- 最大限利潤 大阪市立大学経済研究所編  
「経済学小辞典・増訂版」 昭和31年(1956)4月
- 岩波書店
- 資本主義的生産の無政府性；  
資本主義の基本矛盾 大阪市立大学経済研究所編  
「経済学辞典」岩波書店 昭和40年(1965)9月

## 未発表遺稿

- 商 品：資本主義の基本矛盾 (「マルクス経済学体系」I 第1篇「資本の生産過程」Iと  
して有斐閣より刊行される予定)
- レーニン「弁証法の問題  
について」 (「経済」に発表予定)
- 経済学方法論—宇野理論  
批判—(豊崎稔・林直  
道他編) (雄渾社より、昭和41年(1966)5月刊行予定)